

経営環境変化がもたらす課題

- ・収入減少リスクへの対応
- ・お客さまニーズへの対応
- ・電気事業の構造変化への対応
- ・社会からの様々な要請への対応

基本目標

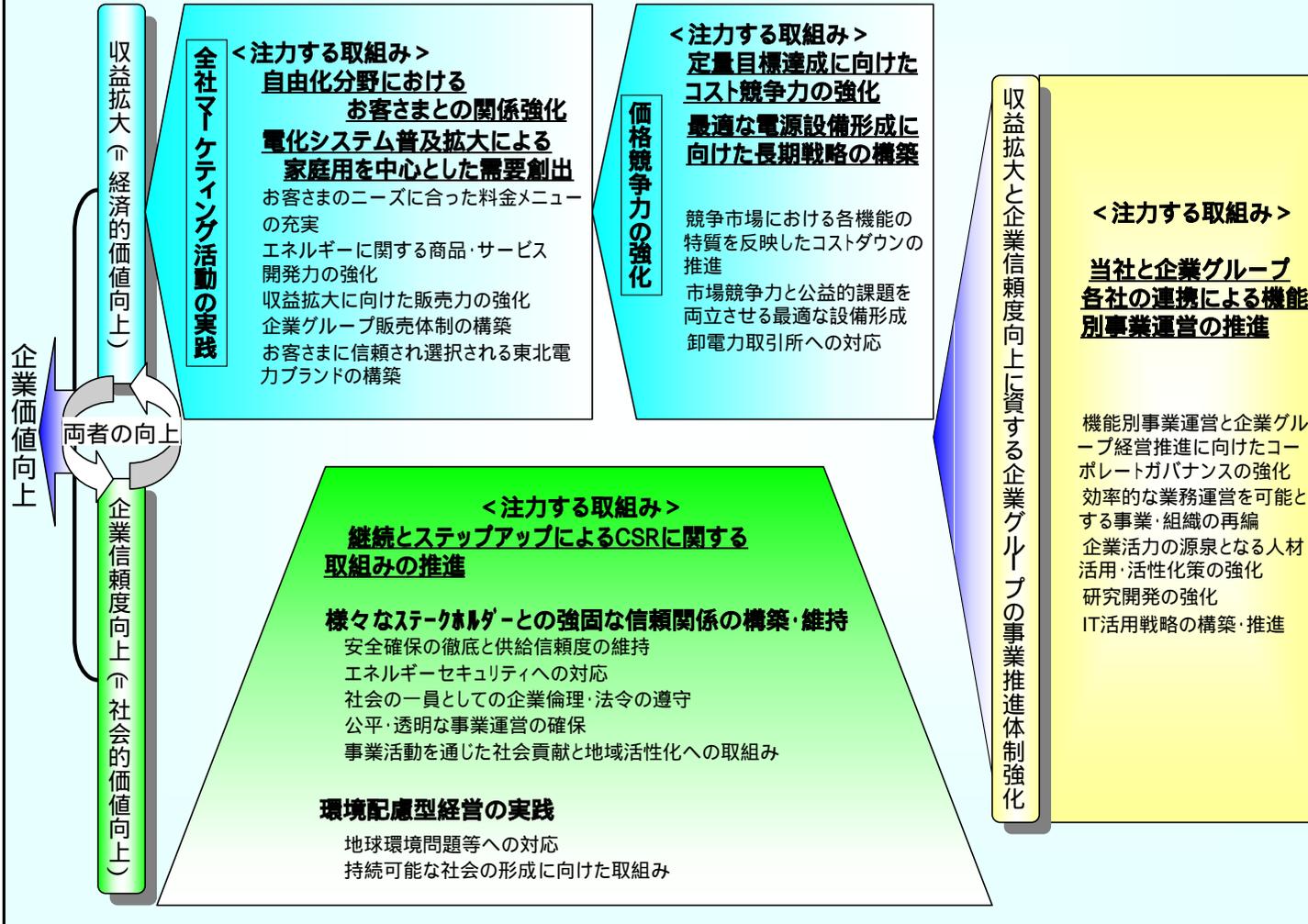
私たちは、お客さまに喜ばれるエネルギーサービスを提供します
～収益拡大とさらなる企業信頼度向上を目指して～

事業展開の推進力

機能毎の競争力強化を通じた
電気事業の徹底強化
電気事業を中核に選択と集中を
明確にした企業グループ経営の推進

主要施策

第三期中期計画の最終年度となる『平成18年度中期経営方針』では、安定供給と安全確保を前提に、収益拡大と企業信頼度向上の両面から取組みを実行し、お客さまに喜ばれるエネルギーサービスの提供を通じて企業価値を高めるとともに、東北地域に貢献する。



定量目標の概要

財務目標

	総資産営業利益率 (ROA) < 5 か年平均 > (16～20年度)	有利子負債残高 < 20年度末 >	株主資本比率 < 20年度末 >
連結	4 % 以上	1兆9,000億円以下	2.5 % 以上
単独	4 % 以上	1兆8,000億円以下	2.5 % 以上

効率化目標

設備工事費 < 3 か年平均 > (18～20年度)	従業員数 < 20年度末 >
2,000億円以下	12,000名以下

販売拡大目標

販売電力量 : 10億kWh程度創出(20年度まで)

・オール電化住宅導入	: 5万戸程度拡大(18～20年度)
・IHキッチンヒーター導入	: 10万台程度拡大(18～20年度)
・業務用電化厨房導入	: 8万kW程度拡大(18～20年度)
・蓄熱等空調システム導入	: 3万kW程度拡大(18～20年度)